

エビス株式会社

奈良県大和郡山市



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

多品種変量生産ができる自動化工場の稼働とIoTを活用した各工程の見える化により生産性を向上

- 多品種変量生産に対応した新工場棟の本格稼働で、作業効率向上と顧客の要望に合わせた生産を実現
- IoTを活用した各工程の見える化が、迅速な設備保全や品種切替と、稼働率低下の防止に貢献
- 高付加価値商品の開発研究を続け、幅広ヘッド歯ブラシ『プレミアムケア』でマーケットニーズを獲得

企業基本情報

所在地	奈良県大和郡山市西町321番地
電話/FAX	0743-56-0791/0743-56-0797
URL	http://www.ebisu-grp.co.jp
代表者	代表取締役社長 乾 正孝
創業	1896年
資本金	10,000万円
従業員数	262人



会社概要

1896年に化粧小物の卸売事業で創業し、1963年の歯ブラシの一貫製造開始を契機に事業転換。現在は、歯ブラシを主力とするオーラルケア用品からキッチンやランドリーなどのプラスチック日用品の製造販売まで事業を拡充している。幅広ヘッドの「プレミアムケア歯ブラシ」が主力製品で、同社製品は、全国の歯ブラシ市場の約1割を占める。自社一貫生産で、顧客ニーズを反映した商品開発が強み。2017年3月、IoT技術を活用した新工場を本格稼働。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

多品種変量生産に対応した新工場棟の完成により付加価値向上

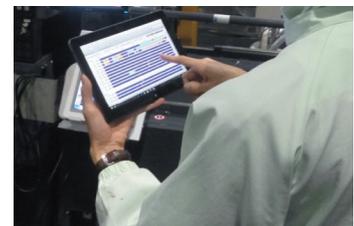
同社は、多くの種類の歯ブラシを、その必要数に応じて生産する「多品種変量生産」に対応した新工場棟を本格的に稼働。従来の手作業による運搬方式を見直し、自動搬送車と立体自動倉庫の運搬システムを新たに構築することで、品種や生産量に応じて成形、植毛、包装の各工程で使用する設備の組み合わせを簡単に変更できるようにした。そのため、多品種で少量の生産であっても稼働率や歩留率を低下させない効率的な一貫生産体制の実現で付加価値を向上。



新工場棟

IoTによる情報の一元管理で生産効率が向上

同社の新工場棟では、IoTを導入して設備の稼働状況を把握している。機械の異常や生産量が目標に近づいたことを検知すると、担当者のタブレット端末にアラームで連絡が入る。アラームの内容に応じて技術者が的確に対応することにより、修理や生産品目の切り替えを迅速に行うことができている。また、データの傾向を分析し、歩留率や稼働率が大きく下がる前に対応できるようにしている。



IoT操作

ニーズを反映した商品開発が強み。幅広歯ブラシで市場獲得

開発から販売まで一貫して社内で行うことで、消費者の声に的確かつ迅速に対応した商品を次々と製品化。

同社が開発した「プレミアムケア歯ブラシ」は、小さなヘッドが主流の中、常識を変える幅広ヘッド。発売当初は、誰が使うのかと言われて販売に苦戦するも、一度使うと今までにない使い心地と高い評価を得て、徐々に市場に浸透。現在では、幅広歯ブラシのマーケットが形成され、大手メーカーより類似品も発売されている。



プレミアムケアハブラシ